

無限 MUGEN

70020-XN5-K4N0

N-ONE ROLL CAGE KIT(6P)

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認してください。
※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。
経験のない方のみでの組み付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので絶対に行わないでください。
2. 本製品は、ホンダ N-ONE FF車（DBA-JG1）標準全高仕様車両への装着を目的として保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種に正しく装着された場合は、改造申請は不要ですので装着したまま車検を受けられます。
3. 本取扱説明書 Ⅲ. ロールケージの装着、1. ロールケージの仮組み(8)の作業については、保安基準（直接視界に係る協定規則）に関する確認作業となりますので必ず実施の上、本製品の装着を行って下さい。
4. 本製品の取付けは、必ずナンバー取得後に行ってください。
5. 本製品の取付けに伴い、カーテンサイドエアバッグ（装備車）、及びシートサイドエアバッグ（装備車）は使用が出来なくなります。エアバック機能の有無により、任意保険の補償内容が変わる場合がございますので、ご契約の保険会社にて補償内容をご確認下さい。
6. 本製品の取付けに際し、一部内装部品の取り外し、加工が必要になります。
7. 純正パーツの取付け、取外しは、サービスマニュアルに従って作業を行ってください。
8. 本製品は、新車の車体を基準に作られております。故に事故車両やひずみ、ゆがみがある車体には取付けが困難な場合がありますのでご注意ください。
9. 本製品の加工、組付け不良、誤使用による不具合、事故等については、弊社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。
10. 別添「ロールケージ保安基準適合資料」は、本製品の保安基準に関する資料とし車検継続検査時等に必要となる場合がございます。お客様にて車両に携行し保管して下さい。

本製品は、保安基準改正（直接視界に係る協定規則）に伴い N-ONE ROLL CAGE KIT (70020-XN5-K0N0) に対し、一部形状変更をした製品となります。同保安基準の適用は車両生産時期により異なり、生産時期（完成検査終了時）に対する製品別の適合は右図の通りとなります。

製品 (部品番号)	70020-XN5-K4N0	70020-XN5-K0N0 (旧製品)
	車両完成検査 終了証発行日	
平成30年10月31日以前	適合	適合
平成30年11月1日以降	適合	使用不可

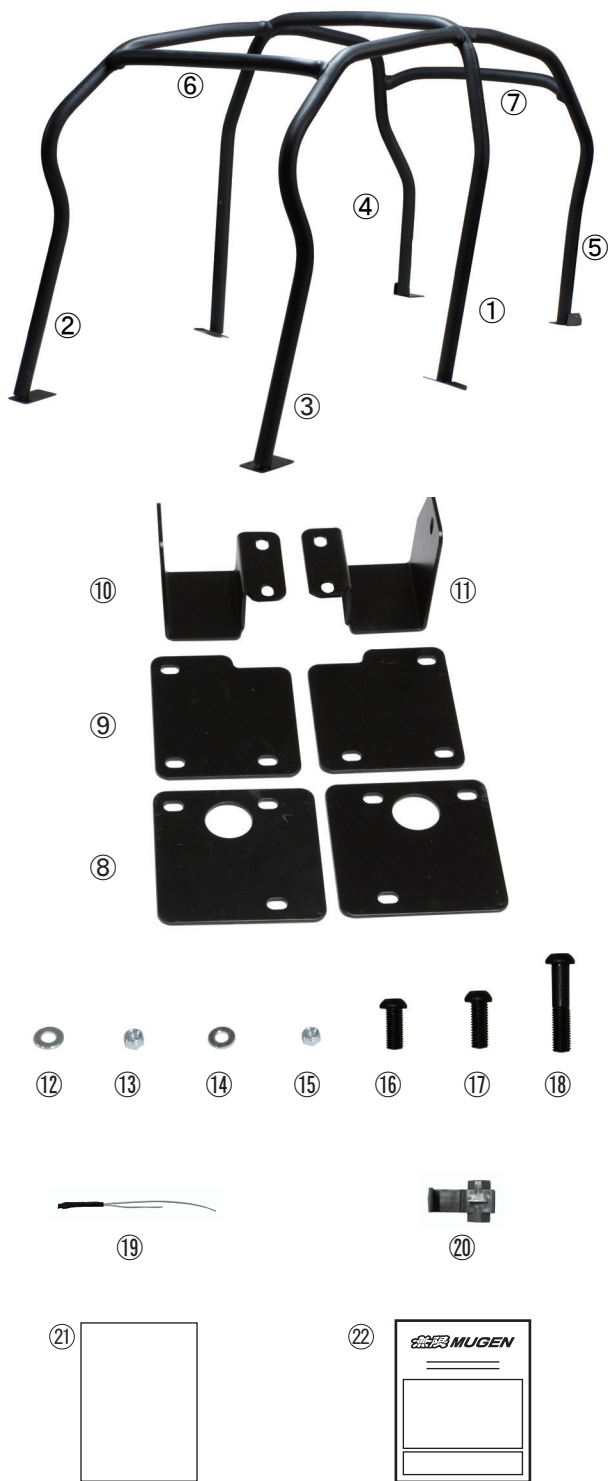
ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11
株式会社 M-TEC 商品事業部 MS企画業務課
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121
【営業時間 10:00～17:00(土日・祝日除く)】

【部品表】

キット品番

70020-XN5-K4N0



NO.	品 名	QTY
①	メインケージ	1
②	フロントサイドケージ 右	1
③	フロントサイドケージ 左	1
④	リアサイドケージ 右	1
⑤	リアサイドケージ 左	1
⑥	フロントアッパーケージ	1
⑦	リアアッパーケージ	1
⑧	補強板 A	2
⑨	補強板 B	2
⑩	補強板 C 右	1
⑪	補強板 C 左	1
⑫	M10 平ワッシャー	8
⑬	M10 Uナット	8
⑭	M8 平ワッシャー	36
⑮	M8 Uナット	18
⑯	六角穴付ボタンボルト M8 × 25	16
⑰	六角穴付ボタンボルト M8 × 30	2
⑱	六角穴付ボタンボルト M10 × 55 × 26	8
⑲	ワーニングランプキャンセラー	4
⑳	コネクタ	8
㉑	型紙セット	1
㉒	取扱説明書	1

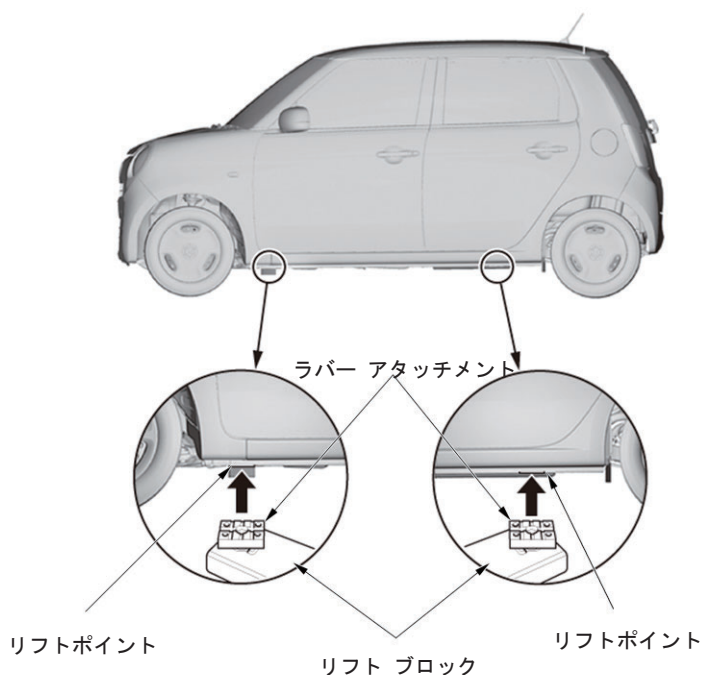
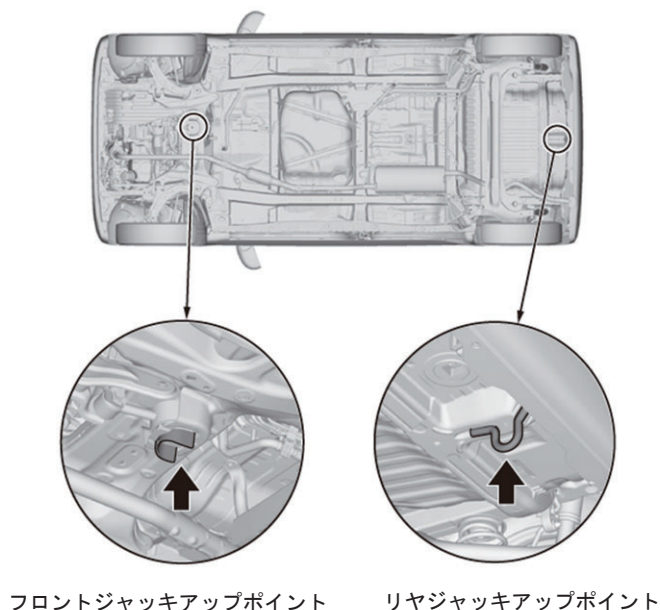
【推奨】

本製品の取付けには影響は及ぼしませんが、下記作業は本製品取付け後の作業が困難なため、同時に作業をすることを推奨いたします。

- ・リアサスペンション用サービスホール加工

【取付準備】

- ① リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリフトまたはリジットラックをあてがう。
- ② リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



⚠ 注意

- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ後は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車輦の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。
- ・ リヤをジャッキアップする時は、ギヤをPポジションにに入れること。

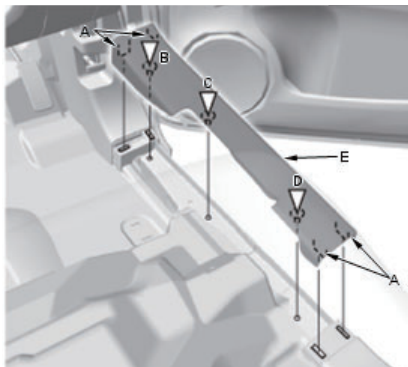
【I. 準備 - 純正部品の取り外し】

ロールケージ装着に際し、以下の部品をサービスマニュアルに従って事前に取り外す。
部品を取り外す際は車両にキズをつけないように養生をしっかりとって作業を行う。

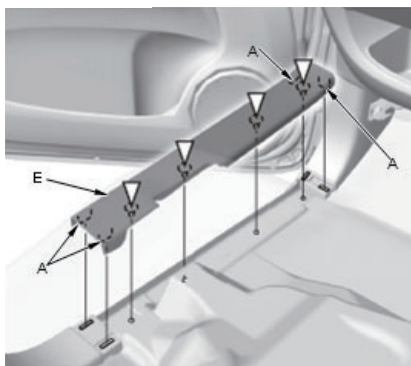
- ・フロントサイドガーニッシュ
- ・リヤサイドガーニッシュ
- ・カウルサイドライニング
- ・センターピラーロアガーニッシュ
- ・カーゴフロアリッド
- ・リヤパネルライニング
- ・カーゴフロアカーペット
- ・ツールボックス
- ・カーゴボックス
- ・カーゴサイドライニング
- ・フロントシート
- ・サンバイザ
- ・グラブレール
- ・グローブボックス

1. フロントサイドガーニッシュの取外し

- (1) フック (A) を外す。
- (2) クリップ (B, C, D) を外し、フロントサイドガーニッシュ (E) を外す。



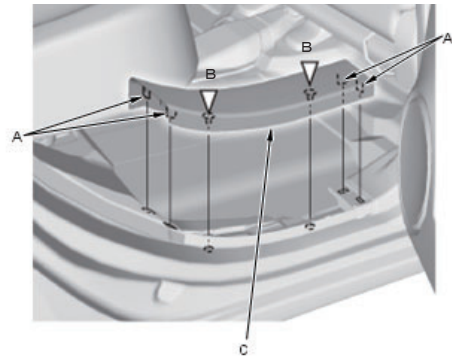
運転席側



助手席側

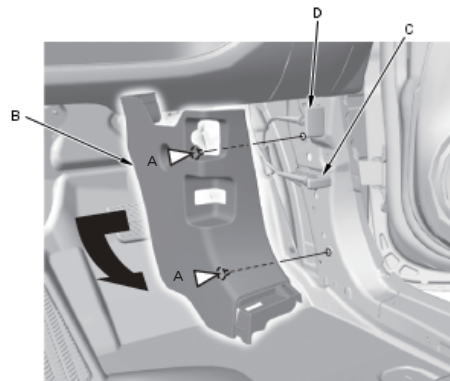
2. リヤサイドガーニッシュの取外し

- (1) フック (A) を外す。
- (2) クリップ (B) を外し、リヤサイドガーニッシュ (C) を取外す。

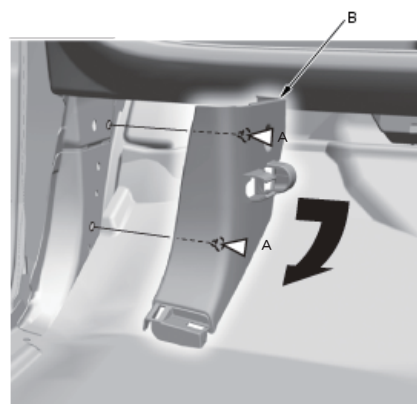


3. カウルサイドライニングの取外し

- (1) クリップ (A) を外す。
- (2) カウルサイドライニング (B) を手前に引き出し、取外す。
- (3) 運転席側：ライニングの穴からボンネットオープンノブ (C) 及びフューエルリッドオープンノブ (D) を通してライニングを取り外す。



運転席側

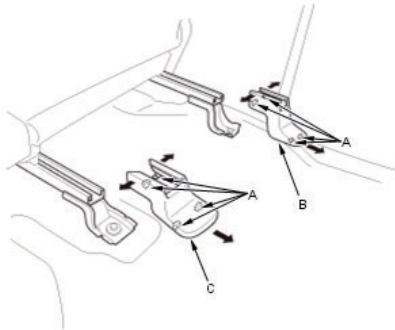


助手席側

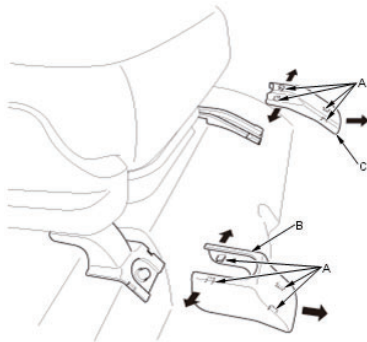
【I. 準備 - 純正部品の取り外し】

4. フロントシート（運転席/助手席）の取外し

- (1) シートを前方にずらす。
- (2) フック(A)を外し、アウトリヤフットカバー(B)及びインナリヤフットカバー(C)を取外す。
- (3) シートレールを固定しているボルトを取り外す。



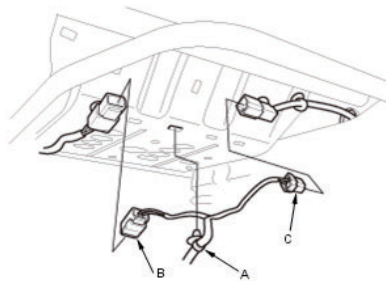
- (4) シートを後方にずらす。
- (5) フック(A)を外し、アウトフロントフットカバー(B)及びインナフロントフットカバー(C)を取外す。
- (6) シートレールを固定している2カ所のボルトを外す。



- (7) フロントシートを傾け、フロアハーネスクリップ(A)を取外し、カブラの接続を外す。

【運転席】

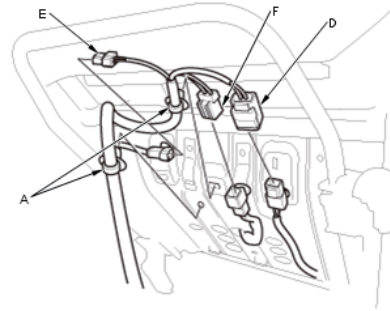
- ・サイドエアバッグ装備車：サイドエアバッグカブラ(B)
- ・シートベルトバックルスイッチカブラ(C)



運転席側

【助手席】

- ・サイドエアバッグ装備車：サイドエアバッグカブラ(D)
- ・シートベルトバックルスイッチカブラ(E)
- ・助手席着座スイッチカブラ(F)

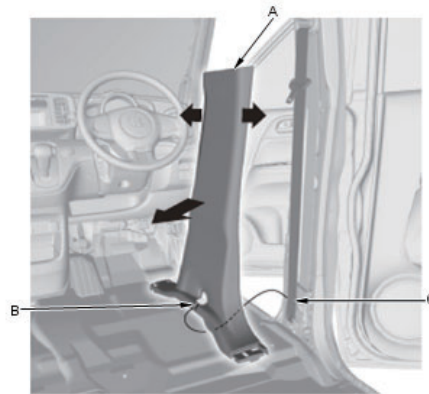


助手席側

- (8) ヘッドレストを取外し、ボディを傷つけないように注意しながら、シート（運転席）を車外に取出す。

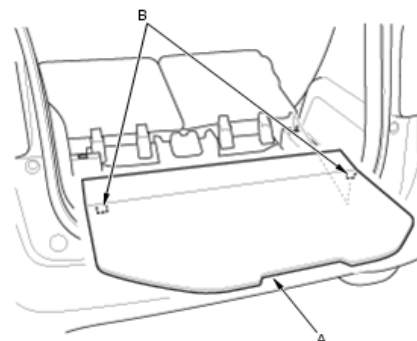
5 センターピラーロアガーニッシュの取外し

- (1) センターピラーロアガーニッシュ(A)のスリット(B)からシートベルト(C)を外し、ガーニッシュを取り外す。



6. カーゴフロアリッドの取外し

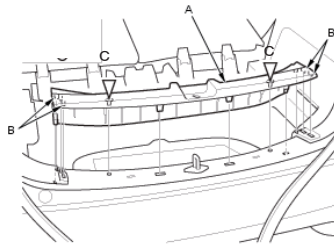
- (1) カーゴフロアリッド(A)を持上げてタブ(B)を外し、取外す。



【I. 準備 - 純正部品の取り外し】

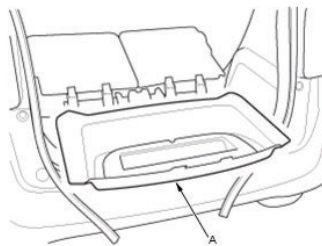
7. リヤパネルライニングの取外し

- (1) リヤパネルライニング (A) 両側のフック (B) を外す。
- (2) クリップ (C) を外し、ライニングを取り外す。



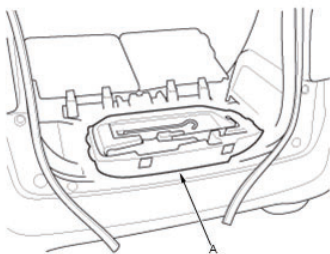
8. カーゴフロアカーペットの取外し

- (1) カーゴフロアカーペット (A) を取外す。



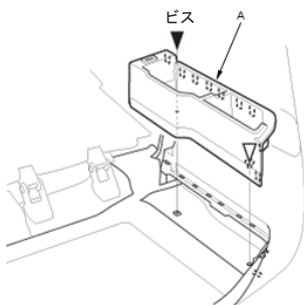
9. ツールボックスの取外し

- (1) ツールボックス (A) を取外す。



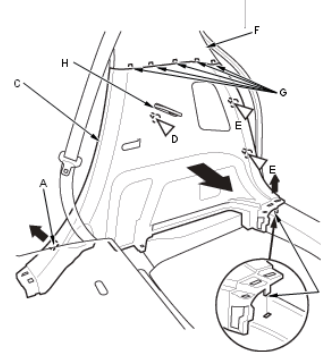
10. カーゴボックスの取外し

- (1) 左右のカーゴボックス (A) を取外す。



11. カーゴサイドライニング (左右) の取外し

- (1) リヤシートバックを倒す。
- (2) クリップ (A) 及びフック (B) を取外す。
- (3) クリップ (D、E) を外す。
- (4) ライニング全体を手前に引出してリヤピラーガーニッシュ (F) からフック (G) を外す。

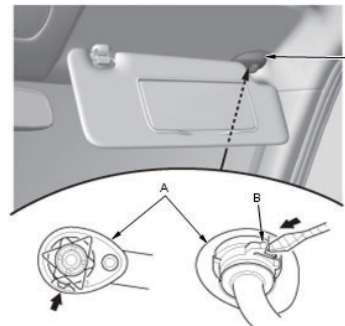


注意

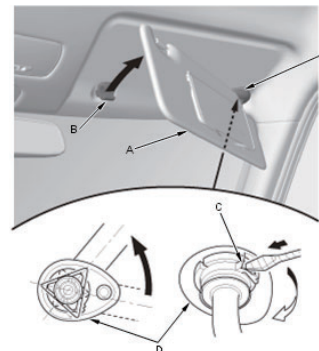
- ・クリップを解除しないまま、ライニング端部を無理に引っ張ると部品が破損する恐れがある。
- ・リヤシートストライカ (H) の干渉に注意しながら作業すること。

12. サンバイザ (運転席、助手席) の取外し

- (1) ベースカバー (A) 前側の切欠きからマイナスドライバなどを差し込み、ベース部のつまみ (B) を押す。

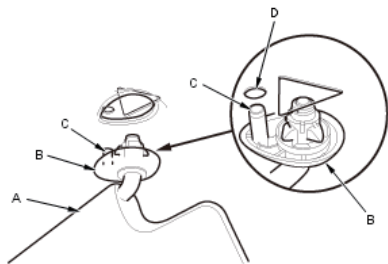


- (2) サンバイザ (A) をホルダ (B) より外して 45° 回転させ、フック (C) が回転しながらベースカバー (D) の中に滑込むのを確認する。

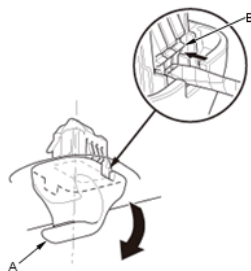


【I. 準備 - 純正部品の取り外し】

- (3) サンバイザ(A)を下げてベースカバー(B)のピン(C)をボディの穴(D)より外す。

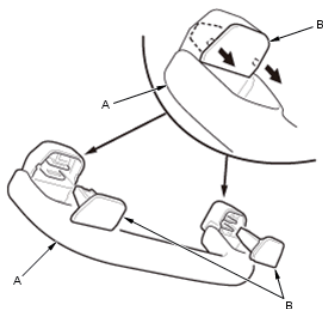


- (4) ホルダ(A)の左右の穴の一方にマイナスドライバを差込み、ホルダの爪(B)に押し当ててボディから外す。

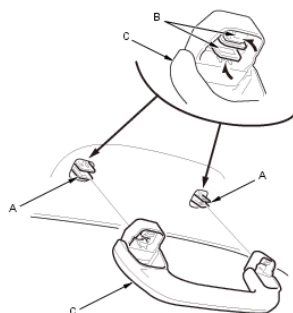


1 3. グラブレルの取外し (運転席側、助手席側)

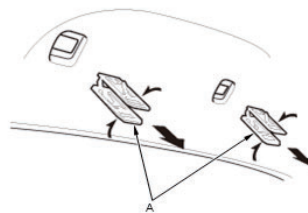
- (1) グラブレル(A)を下げ、ストッパー(B)を取外す。



- (2) クリップ(A)をつまんで、フック(B)を外し、グラブレル(C)を取外す。

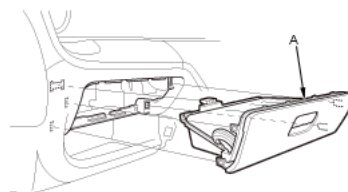


- (3) ラジオペンチなどを使用し、クリップ(A)を引出して取外す。



1 4. グローブボックスの取外し

- (1) グローブボックス(A)を引き出し、取外す。
(2) グローブボックスの蓋を外す。



【Ⅱ. 準備 - 純正部品の加工】

カーテンサイドエアバッグ、及びシートサイドエアバッグの作動停止

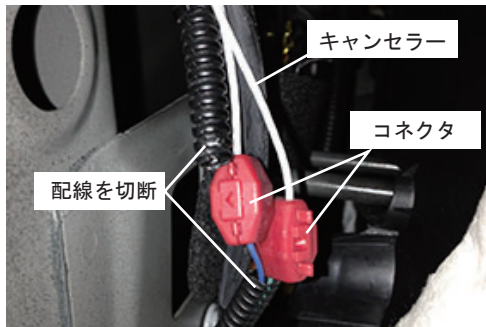
ロールケージの装着により、カーテンサイドエアバッグ、及びシートサイドエアバッグの使用が不可となるため、誤作動を起こさないように作動を停止する。

1. カーテンサイドエアバッグの作動停止

左右のカーゴサイドライニング裏側の位置にあるカーテンサイドエアバッグの配線を**切断**し作動を停止させる。

下の写真を参考に⑳コネクタを使い、㉑ワーニングランプキャンセラーを取付ける。

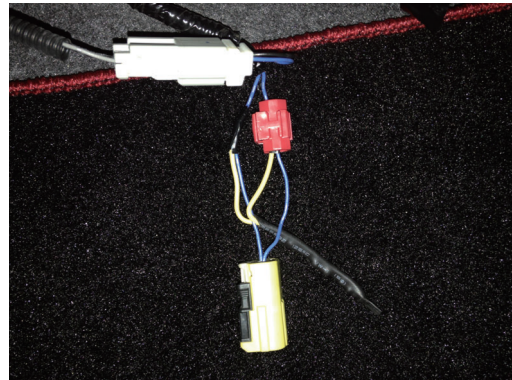
切断した配線の端部は絶縁処理を行うこと。



2. シートサイドエアバッグの作動停止

フロントシート下にあるシートサイドエアバッグのカプラーを外し、作動停止する。

シートサイドエアバッグの配線被覆を剥がし、㉒コネクタを使い㉑ワーニングランプキャンセラーを下の写真のように取付ける。



配線はタイラップ等でシートレールに固定する。

※使用過程において㉒コネクタ部の接続不良が発生した場合、㉒コネクタを使用せずはんだ等により結線を行って下さい。

【Ⅱ. 準備 - 純正部品の加工】

純正部品の加工

注意

- ・カット面はヤスリ等で滑らかに仕上げる。

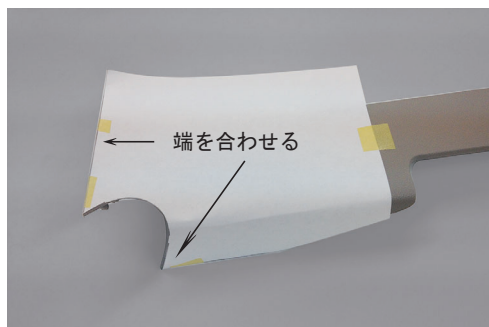
1. グローブボックスの加工

同梱の型紙をグローブボックス蓋（裏側）の写真の位置に合わせ、ロールケージが干渉する部分（点線部分）をカットする。

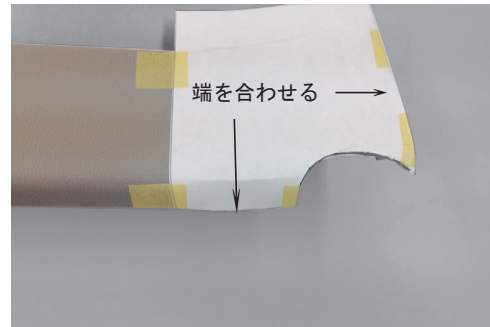


2. フロントサイドガーニッシュの加工

同梱の型紙をフロントサイドガーニッシュに合わせて、写真のようにカットする。



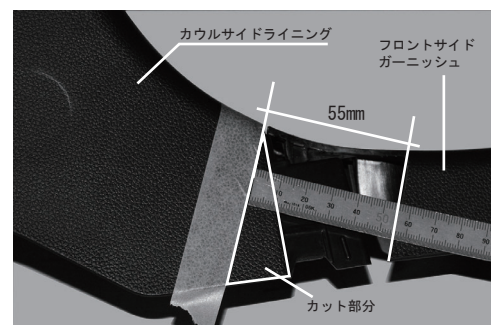
運転席側



助手席側

3. カウルサイドライニングの加工

下の写真を参考に、カットした運転席側のフロントサイドガーニッシュとカウルサイドライニングを仮組みし、運転席側のカウルサイドライニングとロールケージが干渉する部分をカットする。

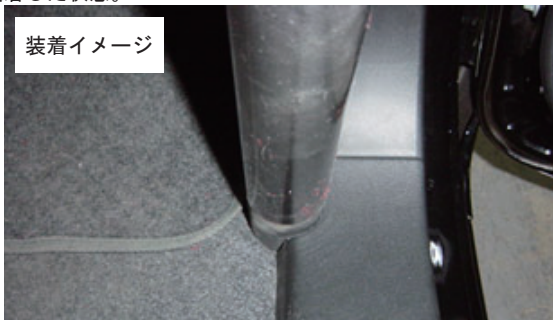


カウルサイドライニング カット後

【Ⅱ. 準備 - 純正部品の加工】

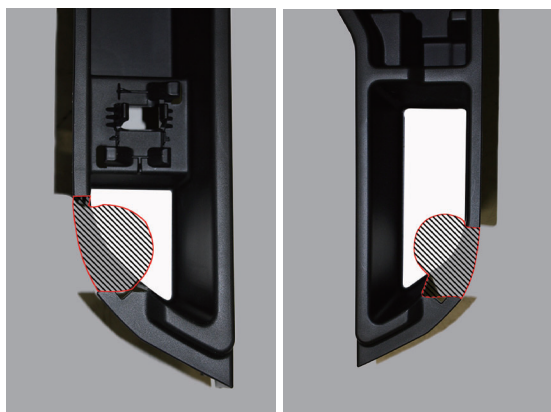
カウルサイドライニングとフロントサイドガーニッシュを装着した状態。

装着イメージ



③カーゴボックスの加工

同梱の型紙を使い、左右のカーゴボックスとロールケージが干渉する斜線部分をカットする。



左側

右側

カーゴボックス側面は底面のカットライン端から垂直に立ち上げたラインでカットする。



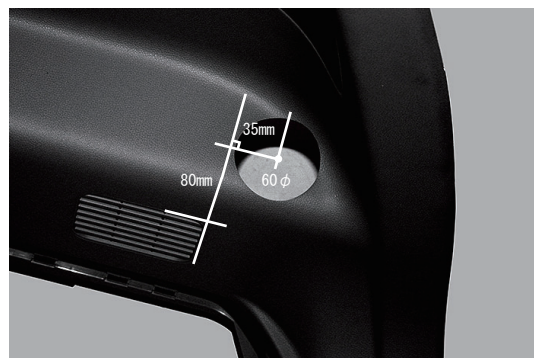
装着イメージ



④カーゴサイドライニングの加工

下の写真を参考に、右側のリアダンパー用サービスホール用の穴あけを行う。

ロールケージの取付けに必ず必要な工程ではありませんが、サスペンションの脱着の為に穴あけを推奨します。



装着イメージ



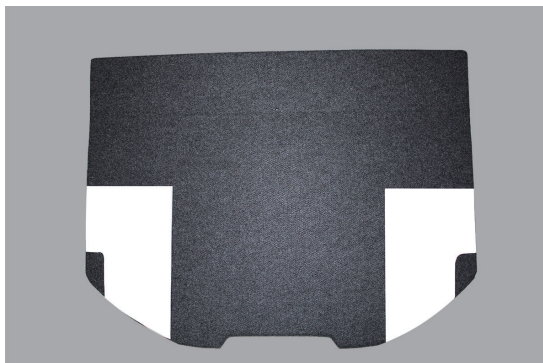
【参考】

左側のリアダンパーメンテナンスは、カーゴサイドライニングのメンテナンスリッドを外して行う。



5. カーゴフロアリッドの加工

同梱の型紙を使い、カーゴフロアリッドをカットする。



カットする部分のカーペットを剥がし、型紙を使ってカーゴフロアリッドの板材部分をカットする。



余ったカーペット材を切り口に巻き、板材に接着する。



装着イメージ



1. ロールケージの仮組み

【組立て手順】

※ロールケージの各連結部は⑩六角穴付ボタンボルト M10×55×26と⑪M10平ワッシャー、⑬M10 Uナットで取付けるが、仮締め状態にしておく。

ボルトの差込向きはP14を参照。

(1) ジョイント部分のロールケージパッドをめくり、ボルト締めが容易に出来るように準備する。



(2) フロアカーペットをめくり、テープ等で止める。

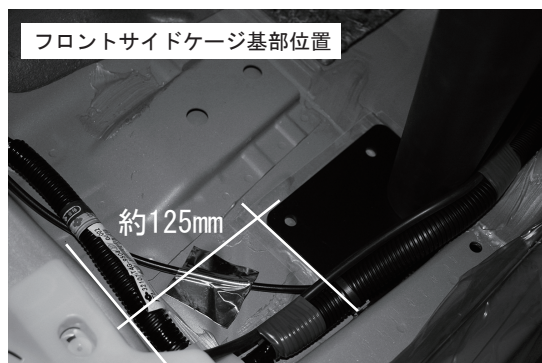


(3) 車内に①メインケージを入れ、基部（プレート）の位置をあわせる。

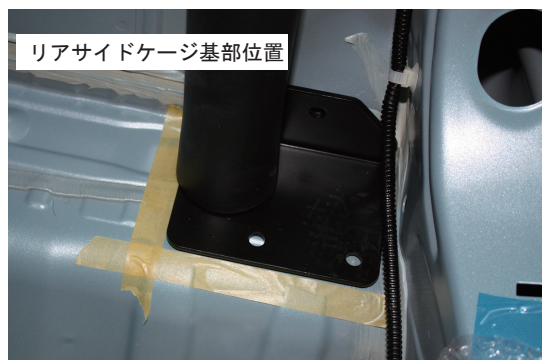


【Ⅲ. ロールケージの装着】

- (4) ①メインケージに②③フロントサイドケージを取付ける。
下図を参照して基部（プレート）位置を決める。



- (5) ④⑤リアサイドケージを①メインケージに取付け、下図を参照して基部（プレート）位置を決める。



- (6) ⑥フロントアッパーケージを②③フロントサイドケージ左右に取付ける。
- (7) ⑦リアアッパーケージを④⑤リアサイドケージに取付ける。

- (8) (1)～(7)工程後、全てのケージが車内に仮組みされた状態で以下の確認を行う。

フロントシート（運転席）を取り付け、運転席を以下の位置に合わせて乗車し②③各フロントサイドケージが下図赤矢印の範囲内に収まっていることを確認する。

（②③各フロントサイドケージがフロントウィンド/左右ドアガラスの視界を妨げていないこと）

- ・シートスライド : 最後端
- ・シートリクライニング : 後方約25°
(シートにリクライニング機能を備えているもの)
- ・シートハイト : 中間又は中間に近い下方
(シート、シートレール等にハイト調整を備えているもの)

※運転席をバケットシート等に変更した場合も上記の条件で確認を行うこと。

また、赤矢印の範囲内に収まらない場合は、(3) (4) (5) 工程の基部（プレート）位置を確認し同範囲内に収まるよう調整すること。

図：運転席側の場合



- (9) (8)の確認後、ロールケージの位置が決まったらフロアに穴位置をマーキングする。

- (10) マーキングが出来たらロールケージを外して一旦車外に出す。



- (11) 基部部分、補強板部分（フロア表裏、リアホイールハウス）のシール材等を切除する。

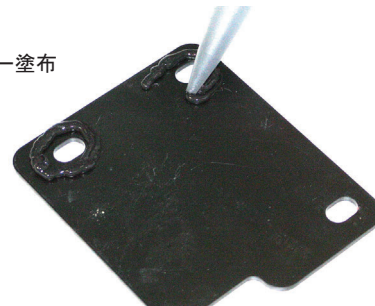
- (12) (9) でフロアにマーキングした18カ所にφ8.0のドリルで穴あけをする。この時フロア裏側にドリルでキズつけるものが無いか確認する。
穴あけ後、バリ、切り粉を取り除き、タッチアップペイントを塗布する。

- (13) 外したグローブボックスとカーゴライニングを取付ける。

2. ロールケージの本組み

- (1) 仮組み時の要領でロールケージを車室内に組み入れ、ボルト、ナットで仮締めする。
- (2) 補強板の穴周りにシリコンのシーラーを塗布し、塗布した面がフロア裏側面に接するようにして下側より⑬六角穴付ボタンボルト M8×25、⑭M8 平ワッシャーを差込、上側（車室内側）より⑮M8 Uナット、⑯M8 平ワッシャーで仮締めする。

シーラー塗布



フロントサイドケージ ⑧補強板 A（右側）

【Ⅲ. ロールケージの装着】

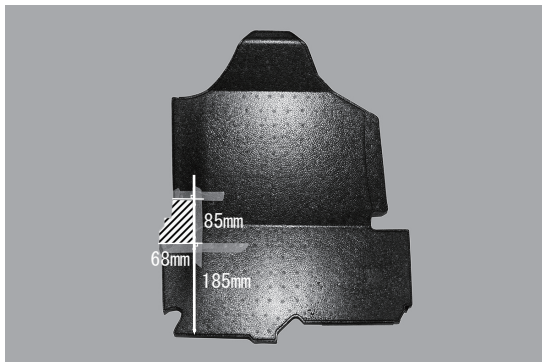


メインケージ ⑨補強板 B (右側)



リアサイドケージ ⑩補強板 C右 (右側)

- (3) 各部が仮締めできたら、ボルト、ナットを本締めし、確実に取付けられていることを確認する。
- (4) ボルト、ナットを本締め後、1. ロールケージの仮組み(8)の確認作業を行い、範囲内に収まらない場合は同工程の調整作業を行う。
- (5) 下の写真を参考に、助手席側のフロントフロアスペーサーの斜線部分をカットする。



- (6) 運転席側のフロントフロアスペーサーは現車のロールケージに合わせてカットを行う。



- (7) ロールケージとカーペットが干渉する部分に切り込みを入れる。



- (8) ロールケージパッドを戻す。



- (9) 取り外した手順と逆に、外した内装部品を取り付ける。

※サンバイザー、フロントグラブレールは取付け不可

【Ⅲ. ロールケージの装着】

ボルトの差込向き

- ⑫M10平ワッシャー
- ⑬M10Uナット
- ⑭M8平ワッシャー
- ⑮M8Uナット
- ⑯六角穴付ボタンボルトM8×25
- ⑰六角穴付ボタンボルトM8×30
- ⑱六角穴付ボタンボルトM10×55×26

